

産学連携モニター派遣事業 事例

学生の卒業制作でお店のイメージチェンジ!

【金峰閣・ライティングビフォーアフター】



ビフォー



アフター

葛城地区商工会広域協議会では、第2回となるこの事業の中で、企業が学生の卒業制作とコラボレーションという、はじめての試みが成功致しました。

平成21年7月25日に畿央大学と連携した「産学連携モニター派遣調査事業」において、広陵町の四川料理 金峰閣へ専門家 株式会社NMR流通総研 中小企業診断士 石川聖子氏とモニターとして畿央大学 人間環境デザイン学科 准教授 加藤信喜氏と卒業ゼミ生5名がモニター派遣調査を実施しました。

その中で、モニターの4回生中島亜紗子さんが、現状のペンダント照明を新しくしてはどうかと提案をしました。金峰閣社長の竹島信児氏の了解を得て、卒業制作として今回の提案を実現できることになりました。名付けて「金峰閣・ライティングビフォーアフター」。店内すべての古いランプシェード(14灯)を和紙と木で構成された新しいシェードに取り換えるというものです。竹島社長と中島さんが何度も打ち合わせを重ね、納得できるものが完成しました。2010.2.1(月)には地元電気店にも協力をいただき、店内すべての照明を一新することが出来ました。店内は以前にもまして高級感が漂い、明るいインテリアへと劇的に変化しました。

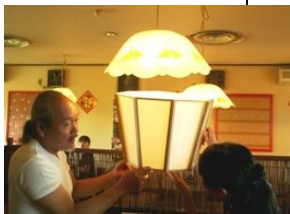
金峰閣 社長 竹島信児氏

のコメント



最初、広域の職員から産学連携モニター派遣の話があり、引き受けたものの、モニターが来て何をやるんだろうという程度の思いでした。モニターとの会話で商品・店内の様子・味付けや価格設定などについて、若い人達との考え方に私自身ギャップを感じました。そんな中、中島さんからの照明の提案があり、何回も中島さんと協議を重ね、時には加藤先生のアドバイスも頂き、形が完成したわけですが、しかし、まだ不安は解消されず、今まで使っていた照明器具を取り外す作業をしていてもまだ不安。ついに新しいものに付け換える作業になり、一つ取り付け二つ取り付けと作業が進むにつれ、徐々に不安に感じていた思いが、感銘に変わっていくのを実感しました。すべての取り換え作業が終わわり、店内を見渡すと、つい先程までの不安は吹き飛び、店内の雰囲気も変わり大満足

の出来栄えに感動しました。今となつては、この事業を引き受けて良かったと思うのと同時に中島さんの努力に感謝しています。



不安から感動へ



畿央大学 人間環境デザイン学科 中島亜紗子さんのコメント



苦労した点は、一つは、店内十

あつたので、すべて作るのに時間がかかったことと、二つ目は、強度の問題でした。少しでも長く使って頂くためにプラスチック障子を使い、耐熱・防水(内側)・強度を上げました。最終これでいこうと決めるまで試行錯誤の繰り返しでした。他にも色々々と苦労はしましたが、照明を付け換え、社長や奥様に喜んで頂いた時にすべて報われたように感じました。最初はうまくいくか、気に入ってもらえるか、不安でしたが、がんばってよかったと思います。これからも、金峰閣さんとの交流を続けていきたいと思っています。



畿央大学 人間環境デザイン学科 准教授 加藤信喜氏のコメント



竹島様にも大変喜んでいただき、

我々にとっても遣り甲斐のあるプロジェクトとなりました。このような無謀ともいえる提案に賛同して下さり、ご協力いただいた金峰閣の竹島様、池内電気商会の池内様、中小企業診断士の石川聖子先生、葛城地区商工会広域協議会、にこの場をお借りして感謝申し上げます。そして最後まで、たったひとりよく頑張った中島さんにねぎらいの言葉をかけたいと思います。よくやりましたね、中島さん。



株式会社NMR流通総研 中小企業診断士 石川聖子氏のコメント



まさに産学連携の

者共に良い機会になったのではないのでしょうか。私自身もその場に携われたことを嬉しく思います。そして、このことは細やかな調整等がないと実現できなかったと思います。どうもお疲れ様でした。